

1. 研修機関情報

(1) 法人情報

- ① 法人格・法人名称・住所等
株式会社グレート 石川県金沢市本町 1-5-1 リファール 1F
- ② 代表者名、研修事業担当理事・取締役名
代表取締役 川島康将

(2) 研修機関情報

- ① 事業所名称・住所等
株式会社グレート富山支店 富山県富山市本町 3-25 富山本町ビル 3F
- ② 理念
介護サービスを実践するために必要な基本的な知識・技術を習得するとともに、職業倫理・態度を養成し、さらなるキャリア向上を目指す十分な意欲向上心を持って、福祉施設・病院等での介護業務および訪問介護サービス業務、その他の高齢者・障害者福祉サービスに関する業務で活躍しうる人材の養成を目的とする。
- ③ 研修施設、設備

名 称	自治労とやま会館 会議室 306 号室	
所 在 地	富山市下新町 8-16	
面 積	70 m ²	
収 容 可 能 人 数	30 名	
主要な使用 備 品 一 覧	福祉用具等の名称	数量
	介護用ベッド	2 台
	回転式介助バー	2 台
	車椅子	2 台
	ポータブルトイレ	2 台
	尿器	2 個
	差し込み便器	2 個
	杖	3 本
	デジタル血圧計	2 台
	すべり止めマット	1 枚
	整容・清潔保持に使用の用具 (洗面器・バケツ・シャワーボトル)	2 セット
	食事介助用食器	2 セット
オムツ (テープ式・パンツ式)	人数分	

2. 研修事業情報

(1) 研修の概要

① 学則

学 則

1. 目的

介護サービスを実践するために必要な基本的な知識・技術を習得するとともに、職業倫理・態度を養成し、さらなるキャリア向上を目指す十分な意欲向上心を持って、福祉施設・病院等での介護業務および訪問介護サービス業務、その他の高齢者・障害者福祉サービスに関する業務で活躍しうる人材の育成を目的とする。

2. 実施主体

- (1) 所在地：石川県金沢市本町 1-5-1 リファール 1F
TEL 番号：076-262-9010 FAX 番号：076-263-7227
- (2) 法人名：株式会社グレート
- (3) 代表者名：代表取締役 川島 康将

3. 研修事業の名称

「介護職員初任者研修 STEP UP! プログラム 2023.7 月コース」(事業内訓練)

4. 実施場所

自治労とやま会館 会議室
富山県富山市下新町 8-16

5. 研修機関

2023 年 7 月 28 日～2023 年 9 月 4 日

6. カリキュラムおよび担当講師名

別紙のとおり実施する。

7. 受講対象者および定員

- (1) 原則として以下の要件を満たす方とする。
- ① 介護職を目指している方、または介護に強い関心・意欲を持つ方
 - ② 当社と雇用契約を締結し、介護の知識・技能を習得することで職業能力の開発及び向上が見込める方
 - ③ 訓練の規約に従い受講が可能な方
 - ④ 富山県内在住で、無理なく通学可能な方
- (2) 定員は 15 名とする。

8. 研修参加費用

受講料：事業内訓練としての開講につき、受講料・テキスト費は無料とする。

9. 受講手続き

受講申込書に必要事項を記入し、弊社富山支店にて面談のうえ提出するものとする。
その際、規約および詳細についての説明を行う。

10. 本人確認の方法

受講者に対し、受講申込受付時または初回の講義時に下記の方法により本人確認を行う。
<運転免許証・パスポート・学生証・国家資格等の免許証または登録証・健康保険証・年金手帳・戸籍
謄本・戸籍抄本・住民票・住民基本台帳カード・在留カード 等のいずれかの提示>

11. 補講の実施方法および費用

通学課程（講義・演習）の一部を欠席した場合もしくは通信課程を含む知識・技術の習得が十分で
ないと認められる場合は、該当者のみを対象とした個別の講義・演習により補講を行う。なお、補
講の費用は無料とする。

また、欠席した場合について、弊社がほぼ同時期に同一研修内容で別日程のコースを開講している場合
は、該当科目のみ別日程のコースで振替受講できるものとする。その場合も、補講費用は無料とする。
ただし、振替受講により、一部科目の受講日や修了テスト実施日を変更する場合がある。

12. 研修修了の認定方法

次の条件をいずれも満たした者を修了者として認定する。

- ① 通信課程における全ての課題を提出し、添削指導を受けた者
- ② 通学課程における全ての科目・時間を受講した者
(※欠席等に関しては、11.に記載の要件を満たした者)
- ③ 次の評価基準を満たした者
 - ・ 修了評価テスト（筆記形式）において、概ね70%以上得点した者
 - ・ 「こころとからだのしくみと生活支援技術」の基礎知識に関するテスト（筆記形式）において、概ね70%以上の習得度を満たした者
 - ・ 介護技術演習内容の個別評価において、概ね70%以上の習得度を満たした者
 - ・ 受講態度および意欲が、修了に値すると認められる者
- ④ 原則として、訓練の修了要件を満たした者、概ね8か月を上限とする

②研修日程・時間数・講師名

日時	時間数	科目－（細目）内容	講師職氏名	場所
7月28日 9:35～12:45	3	1－（1）多様なサービスの理解	伊藤里美	自治労とやま 会館 会議室
7月28日 13:35～16:45	3	1－（2）介護職の仕事内容や働く現場の理解	伊藤里美	
7月31日 9:20～10:50	1.5	2－（1）人権と尊厳を支える介護	辻田順子	
7月31日 11:00～12:30	1.5	2－（2）自立に向けた介護	辻田順子	

7月31日 13:20～14:20	1	3－（１）介護職の役割、専門性と多職種との連携	辻田順子
7月31日 14:20～14:50	0.5	3－（２）介護職の職業倫理	辻田順子
7月31日 15:00～16:00	1	3－（３）介護における安全の確保とリスクマネジメント	辻田順子
7月31日 16:00～16:30	0.5	3－（４）介護職の安全	辻田順子
8月1日 9:20～12:30	3	4－（１）介護保険制度	千 恵子
8月1日 13:20～16:30	3	4－（３）障害者福祉制度およびその他制度	千 恵子
8月3日 9:20～11:20	3	4－（２）医療との連携とリハビリテーション	野口幸子
8月3日 11:30～14:20	1.5	5－（１）介護におけるコミュニケーション	野口幸子
8月3日 14:30～16:30	1.5	5－（２）介護におけるチームのコミュニケーション	野口幸子
8月4日 9:20～11:30	2	9－（１）介護の基本的な考え方	和田美登利
8月4日 11:30～14:20	2	9－（２）介護に関するこころのしくみの基本的理解	和田美登利
8月4日 14:20～16:30	2	9－（３）介護に関するからだのしくみの基礎的理解	和田美登利
8月7日 9:20～10:50	1.5	6－（１）老化に伴うこころとからだの変化と日常	遊道直美
8月7日 11:00～12:30	1.5	6－（２）高齢者と健康	遊道直美
8月7日 13:20～14:20	1	8－（１）障害の基礎的理解	遊道直美
8月7日 14:20～15:30	1	8－（２）障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援の基礎的知識	遊道直美
8月7日 15:30～16:30	1	8－（３）家族の心理、かかわり支援の基礎的理解	遊道直美
8月8日 9:20～10:50	1.5	7－（１）認知症を取り巻く状況	伊藤里美
8月8日 11:00～12:30	1.5	7－（２）医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	伊藤里美
8月8日 13:20～14:50	1.5	7－（３）認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	伊藤里美
8月8日 15:00～16:30	1.5	7－（４）家族への支援	伊藤里美

8月10日 9:20～16:30	6	9－（5）快適な居住環境整備と介護	辻田順子
8月17日 9:20～12:30	3	9－（4）生活と家事	辻田順子
8月17日 13:20～16:30	3	9－（7）移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	辻田順子
8月18日 9:20～16:30	6	9－（7）移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	辻田順子
8月21日 9:20～16:30	6	9－（6）整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	遊道直美
8月22日 9:20～16:30	6	9－（8）食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	和田美登利
8月24日 9:20～16:30	6	9－（9）入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	千恵子
8月25日 9:20～16:30	6	9－（10）排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	廣田光子
8月28日 9:20～16:30	6	9－（11）睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	伊藤里美
8月29日 9:20～16:30	6	9－（12）死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	野口幸子
8月31日 9:20～12:30	3	9－（13）介護過程の基礎的理解	辻田順子
8月31日 13:20～16:30	3	9－（14）総合生活支援技術演習	辻田順子
9月1日 9:20～16:30	6	9－（14）総合生活支援技術演習	辻田順子
9月4日 9:20～11:30	2	10－（1）振り返り	千恵子
9月4日 11:30～14:20	2	10－（2）就業への備えと研修終了後における継続的な研修	千恵子
6月29日 14:30～16:00	1.5	修了評価テスト	

③指導者数
7名

(2) 課程編成責任者
太田真理子

(3) 研修カリキュラム

科目（細目）	研修時間内訳		具体的内容
	通信	通学	
1 職務の理解			
(1) 多様なサービスの理解 【3時間】	0	3	①介護保険による居宅サービス ②介護保険による施設サービス ③介護保険外のサービス
(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解 【3時間】	0	3	①介護サービスを提供する現場の実際 ②介護サービスの提供にいたるまでの流れ ③介護過程とチームアプローチ
2 介護における尊厳の保持・自立支援			
(1) 人権と尊厳を支える介護 【4.5時間】	3	1.5	①人権と尊厳の保持 ②ICF ③QOL ④ノーマライゼーション ⑤虐待防止、身体拘束禁止
(2) 自立に向けた介護 【4.5時間】	3	1.5	①自立支援 ②介護予防
3 介護の基本			
(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携 【2.5時間】	1.5	1	①介護環境の特徴 ②介護の専門性 ③介護にかかわる職種
(2) 介護職の職業倫理 【1時間】	0.5	0.5	①専門職の倫理の意義 ②介護福祉士の倫理
(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント 【1.5時間】	0.5	1	①介護における安全の確保 ②事故予防、安全対策 ③感染対策
(4) 介護職の安全 【1時間】	0.5	0.5	①介護職の心身の健康管理 ②感染予防
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携			
(1) 介護保険制度 【3時間】	0	3	①介護保険制度創設の背景および目的、動向 ②介護保険制度のしくみの基礎的理解 ③制度を支える財源、組織・団体の機能と役割
(2) 医療との連携とリハビリテーション 【3時間】	0	3	①医療行為と介護 ②訪問看護 ③施設における看護と介護の役割・連携 ④リハビリテーション
(3) 障害福祉制度およびその他制度 【3時間】	0	3	①障害者福祉制度の概念 ②障害者福祉制度のしくみの基礎的理解 ③個人の人権を守る制度の概要
5 介護におけるコミュニケーション技術			

(1) 介護における コミュニケーション 【3時間】	1.5	1.5	①コミュニケーションの意義、目的、役割 ②コミュニケーションの技法 ③利用者・家族とのコミュニケーションの実際 ④利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際
(2) 介護におけるチー ムのコミュニケーション 【3時間】	1.5	1.5	①記録における情報の共有化 ②報告・連絡・相談 ③コミュニケーションをうながす環境
6 老化の理解			
(1) 老化に伴うこころ とからだの変化と日常 【3時間】	1.5	1.5	①老年期の定義 ②老年期の発達と老化にともなう心身の変化の特徴 ③老化にともなう心身の機能の変化と日常生活への影響
(2) 高齢者と健康 【3時間】	1.5	1.5	①高齢者の症状・疾患の特徴 ②高齢者の疾病と日常生活上の留意点 ③高齢者に多い病気と日常生活上の留意点
7 認知症の理解			
(1) 認知症を取り巻く 状況 【1.5時間】	0	1.5	①認知症ケア理念 ②認知症ケアの視点
(2) 医学的側面から見 た認知症の基礎と健 康管理 【1.5時間】	0	1.5	①認知症の概要 ②認知症の原因疾患とその病態 ③原因疾患別ケアのポイント ④健康管理
(3) 認知症に伴うここ ろとからだの変化と日 常生活 【1.5時間】	0	1.5	①認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴 ②認知症の人への対応
(4) 家族への支援 【1.5時間】	0	1.5	①家族への支援 ②認知症の人を介護する家族へのレスパイトケア
8 障害の理解			
(1) 障害の基礎的理解 【1時間】	0	1	①障害の概要と ICF ②障害者福祉の基本理念
(2) 障害の医学的側面、 生活障害、心理・行動 の特徴、かかわり支援 等の基礎的知識 【1時間】	0	1	①身体障害 ②知的障害 ③精神障害 ④発達障害 ⑤難病
(3) 家族の心理、かか わり支援の理解 【1時間】	0	1	①家族の理解と障害の受容支援 ②介護負担の軽減
9 こころとからだのしくみと生活支援技術			
(1) 介護の基本的な考 え方 【3時間】	1	2	①理論にもとづく介護 ②法的根拠にもとづく介護

(2) 介護に関するこころのしくみの基礎的理解 【3時間】	1	2	①学習と記憶に関する基礎知識 ②感情と意欲に関する基礎知識 ③自己概念と生きがい ④老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因
(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解 【3時間】	1	2	①生命の維持・恒常のしくみ ②人体の各部の名称と動きに関する基礎知識 ③骨・関節・筋に関する基礎知識 ④中枢神経と体制神経に関する基礎知識 ⑤自律神経と内部器官に関する基礎知識
(4) 生活と家事 【3時間】	0	3	①生活と家事の理解 ②家事援助に関する基礎知識と生活支援
(5) 快適な居住環境整備と介護 【6時間】	0	6	①快適な居住環境に関する基礎知識 ②高齢者・障害者特有の居住環境整備と福祉用具の活用
(6) 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 【6時間】	0	6	①整容に関する基礎知識 ②整容の支援技術
(7) 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 【9時間】	0	9	①移動・移乗に関する基礎知識 ②移動・移乗に関する福祉用具とその活用方法 ③利用者・介助者にとって負担の少ない移動・移乗の支援 ④移動・移乗を阻害する要因の理解とその支援方法 ⑤移動と社会参加の留意点と支援
(8) 食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 【6時間】	0	6	①食事に関する基礎知識 ②食事環境の整備と食事に関連する用具の活用方法 ③楽しい食事を阻害する要因の理解と支援方法 ④食事と社会参加の留意点と支援
(9) 入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 【6時間】	0	6	①入浴・清潔保持に関する基礎知識 ②入浴・清潔保持に関連する用具の活用方法 ③楽しい入浴を阻害する要因の理解と支援方法
(10) 排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 【6時間】	0	6	①排泄に関する基礎知識 ②排泄環境の整備に関連する用具の活用方法 ③爽快な排泄を阻害する要因の理解と支援方法
(11) 睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 【6時間】	0	6	①睡眠に関する基礎知識 ②睡眠環境の整備と関連する用具の活用方法 ③快い睡眠を阻害する要因の理解と支援方法
(12) 死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護 【4時間】	0	6	①終末期に関する基礎知識 ②生から死への過程 ③「死」に向き合うこころの理解 ④苦痛の少ない死への支援

(13) 介護過程の基礎的理解 【3時間】	0	3	①介護過程の目的・意義・展開 ②介護過程とチームアプローチ
(14) 総合生活支援技術演習 【9時間】	0	9	①演習を行うにあたって ②「食べたくない」と訴える施設入居者の援助 ③できるだけ外に出かけたいと思っている利用者の援助 ④トレイでの排泄にこだわりをもつ利用者の理解
10 振り返り			
(1) 振り返り 【2時間】	0	2	①研修を修了して感じたこと、考えたこと ②学んだことを再確認する
(2) 就業への備えと研修終了後における継続的な研修 【2時間】	0	2	①継続的な研修が大切 ②介護職のキャリアアップと介護職が目指す「介護」
合計	18	112	
	130		

(4) 通信課程の教材・指導方法・指導体制・課題

①研修に使用する教材

中央法規 介護職員初任者研修テキスト（介護のしごとの基礎第4版・自立に向けた介護の実際第3版）

②指導方法・指導体制

1. 研修開始日に、すべての通信課題を受講者に配布を行う。
2. 通信課題の提出期限を4回に分けて設定。
3. 提出期限は通学日程に設定し、持参による提出とする。
4. 添削担当講師が、各設問の正誤判定と、添削指導を行う。
5. 添削済課題は、通学日程に設定し、手渡しにより返却日を行う。
6. 添削課題に関する質問は、通学日において講義演習担当講師が専門的見地から回答する。

③通信課題の認定方法

1. 通信課程における全ての課題を提出し、担当講師による正誤判定と添削指導を受けた者について、通信課程修了と認定する。
2. ただし、習得度・理解度が著しく不足していると弊社が判断した場合は、課題の再提出または通学による補講を指示することがある。その場合、習得度・理解度が一定水準に達したと認められた時点で、通信課程修了と認定する。

④ 通信課題

提出回	科目の細目
第1回	2-1 人権と尊厳を支える介護 2-2 自立に向けた介護
第2回	3-1 介護の役割、専門性と多職種の連携 3-2 介護職の職業倫理 3-3 介護における安全の確保とリスクマネジメント 3-4 介護職の安全
第3回	4-2 医療との連携とリハビリテーション 5-1 介護におけるコミュニケーション 5-2 介護におけるチームのコミュニケーション 6-1 老化に伴うこころとからだの変化と日常

	6-2 高齢者と健康
第4回	9-1 介護の基本的な考え方 9-2 介護に関するところのしくみの基礎的理解 9-3 介護に関するからだのしくみの基礎的理解

3. 講師情報

講師名	略歴・現職	資格
辻田 順子	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師 ・看護専門学校教員 ・福祉専門学校教員 ・高等学校講師 ・介護職員養成研修非常勤講師（現職） 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師 ・看護教員養成講習修了 ・介護教員養成講習修了
千 恵子	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職員 ・生活指導員 ・福祉専門学校教員 ・短期大学職員（現職） ・介護職員養成研修非常勤講師（現職） 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士 ・介護福祉士 ・介護支援専門員 ・介護教員養成講習修了
伊藤 里美	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師 ・介護員養成研修講師 ・福祉専門学校講師 ・福祉短期大学準教授 ・介護職員養成研修非常勤講師（現職） 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師 ・社会福祉士 ・介護福祉士 ・介護支援専門員 ・介護教員養成講習修了
和田 美登利	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師 ・看護専門学校講師 ・介護職員養成研修非常勤講師（現職） 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師 ・認定看護管理者教育課程修了
廣田 光子	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師 ・相談支援員（現職） ・介護職員養成研修非常勤講師（現職） 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師 ・赤十字家庭看護教師
遊道 直美	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師 ・相談支援員（現職） ・ストレングスコーチ（現職） ・研修講師（現職） 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師 ・産業カウンセラー ・キャリアコンサルタント
野口 幸子	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師（現職） ・助産婦 ・看護専門学校教員（現職） 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師 ・助産婦 ・受胎調節実地指導員

4. 実績情報

① 過去3年間の研修実施回数<介護職員初任者研修>

令和02年度：4回 / 令和03年度：3回 / 令和04年度：4回

② 過去3年間の研修延べ人数<介護職員初任者研修>

令和02年度：18名 / 令和03年度：10名 / 令和04年度：21名

5. 連絡先等

① 申し込み・資料請求先

株式会社グレート富山支店

富山県富山市本町3-25 富山本町ビル3F TEL076-443-9010

② 法人、事業所の苦情対応者名・役職・連絡先

課長：太田真理子（富山支店）・TEL076-443-9010